

平成30年度 企画提案型協働事業  
 関連課事前協議チェックシート

提案者名：特定非営利活動法人 谷田武西の原っぱと森の会

提案事業名：武西の里山 保全と調査事業

関連課等名： 環境保全課

班等名：保全係

担当者名：海老原 康人

内線等：365

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

**(1)市民ニーズについて**

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

H29.8に実施した「環境に関する市民意識調査」において「市内の残したい環境」の設問に対し「自然環境、里山、動植物」が最も多い回答数であった。

「自然環境、里山、動植物」…本埜の白鳥田、原付近の谷津、草深の森、結縁寺付近の里山、武西の里山

**(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について**

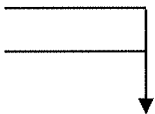
- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)

印西市第2次基本計画  
(政策の方向性より)

「私たちの生活にうるおいとやすらぎをもたらす水辺(利根川、印旛沼、手賀沼)や里山などの豊かな自然環境を市民とともに保全・活用し、未来に継承していきます。

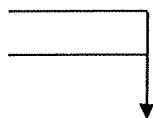
**(3)法令上の問題について**

- 1 法令上、実施できない
  - 2 部分的に問題あり
  - 3 特に問題なし
- 

(1または2の場合の具体的理由)

#### (4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- ② 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

市では4年に一度自然環境調査業務により(植物、哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、昆虫類、魚類、水鳥類、ホタル類)の市内全域における現地調査を各季節に応じて行っている。  
(調査回数、調査地区数については調査対象の種類により異なる)

#### (5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- ② 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

市が草刈業務を業務委託をするよりも、計画上、回数、面積で上回る。

#### (6)実施計画、実施方法について

- 1 具体的であり、実現性・実行性は高い
- ② 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

既に活動実績のある団体であり実現性があるものと思われる。

#### (7)市が行う事業(委託事業等)としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

該当箇所の草刈業務委託を予定していることから事業として実施できる。

### (8) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- ② 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

市が負担する部分の大半は人件費となっており、その単価は千葉県の最低賃金(842円)とほぼ同額である。

### (9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

### (10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- ② 取り組むことは可能
- 3 どちらかというとな取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

事業の目的や内容については、環境保全課が実施する事業と共通する部分もあり、目的を達成するために協働して取り組んでいきたい。

平成30年度 企画提案型協働事業  
 関連課事前協議チェックシート

提案者名：NPO法人 里地里山保全ねっと 理事長 高橋 幸治

提案事業名：イノシシ等の獣害対策としての荒れた里山の整備事業

関連課等名：農政課

班等名：農政係

担当者名：阿部良平

内線等：372

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- ② ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

イノシシの生息範囲は広範囲に及んでおり、農業被害や市民生活において不安を与える要素となっている。よって市民全体としてイノシシ対策として生息環境整備を実施することへのニーズはあると考えられる。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

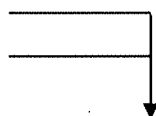
- ① 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)

持続的な農業を推進していく上で生産基盤を整備することが必要であり、そのために遊休農地を整備することで生産基盤を再生させることができ、遊休農地周辺の生産基盤をイノシシ等から守ることができる。また、自然豊かな里山を整備していくことで、市民が自然に親しむことができる機会を創出することができる。よって整合性があるものと考えられる。

(3)法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- ③ 特に問題なし

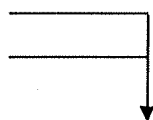


(1または2の場合の具体的理由)

Blank box for providing specific reasons for items 1 or 2.

#### (4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- 2 類似の事業等を実施している
- ③ 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

#### (5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- ② 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

事業実施者によると平成30年7月末現在、事業を実施した結果、イノシシの形跡はかなり減少したとのこと。よって、里山周辺の整備を行うことが、イノシシの「生息域管理」に関係していると考えられる。しかしながら、まだ実施期間が短く関連性があるかどうか結論づけることは時期尚早である。

#### (6)実施計画、実施方法について

- 1 具体的であり、実現性・実行性は高い
- ② 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

平成30年度において、概ね計画に沿って事業を実施しており、かつイノシシの調査も行っている。したがって平成31年度も実現性・実効性に問題はないと思われる。

#### (7)市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- 1 市の事業として実施できる
- ② 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

私有地の整備は各所有者が行うべきであるため、市の予算を投入し実施することで、公平性に疑問を呈する意見が出てくるのが予想される。

### (8)事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

事業費の積算については問題ないと思われる。

### (9)提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

- ・団体が行う整備の方法がイノシシ対策として有効であるか。
- ・民有地を市の事業で整備することの是非。
- ・複数年継続して事業を実施していくことができるか。

### (10)総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- ② 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

イノシシ対策として効果があるか判断するに十分な期間を経過していないことから、今後も事業を進め、これからのイノシシ対策に繋げていくことが必要であるため。

平成30年度 企画提案型協働事業  
関連課事前協議チェックシート

提案者名：印西防災研究会

提案事業名：自主防災組織の活性化 事業

関連課等名：総務部防災課

班等名：防災班

担当者名：清田・安達

内線等：452・453

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- ① 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

- ① 共助の要である自主防災組織の活性化は喫緊の課題である。
- ② 当課への出前講座の依頼件数の増加などから、市民の防災意識は高く、市民ニーズはある。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

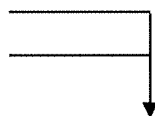
- ① 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)

印西市第2次基本計画【平成28～32年度】では、自主防災阻止の育成に努め地域防災体制の強化を図るとしており、整合性がある。

(3)法令上の問題について

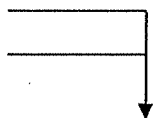
- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- ③ 特に問題なし



(1または2の場合の具体的理由)

#### (4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- ② 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

印西市自主防災組織リーダー研修会(一年に一度実施している市内自主防災組織の代表者向けの研修)  
防災講演会(9月の防災週間に合わせて開催している一般市民向けの講演会)

#### (5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- ② 効果はある
- 3 どちらかというとも効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

30年度に、市内全自主防災組織の状況を調査しており、その結果に基づいての事業であるため、効果はあるものとする。

#### (6)実施計画、実施方法について

- ① 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

30年度に実施したアンケート結果に基づき自主防災組織を活性化するというものであり、実効性は高いと思われる。

#### (7)市が行う事業(委託事業等)としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

市としても自主防災組織の活性化事業を実施しており、協働事業として実施できる。



### (8) 事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

消耗品費や通信運搬費などの細かな項目についても積算しており、妥当性がある。

### (9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

申請団体が独自に作成したマニュアルについては、今後、市の計画が変わった場合等の際は、協議して更新していく必要がある。

### (10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

市においても自主防災組織の活性化を図っていきたいと考えているところであり、防災対策を専門としている団体と協働で事業を実施していきたい。